

猪名川上流広域ごみ処理施設
環 境 保 全 委 員 会

第 4 7 回委員会会議録

平成 2 8 年 1 2 月 8 日

猪名川上流広域ごみ処理施設組合

猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会

第47回委員会会議録

1. 日時：平成28年12月8日（木） 18：35～19：10

2. 場所：川西市役所 4階 庁議室

3. 出席者 (◎委員長、○副委員長)

学識経験者	◎吉田 篤正	大阪府立大学大学院工学研究科教授
学識経験者	中嶋 鴻毅	元大阪工業大学情報科学部情報メディア学科教授
学識経験者	原田 正史	大阪市立大学大学院医学研究科特任教授
学識経験者	服部 保	兵庫県立大学自然・環境科学研究所名誉教授
学識経験者	○尾崎 博明	大阪産業大学工学部都市創造工学科教授（欠席）
学識経験者	渡辺 信久	大阪工業大学工学部環境工学科教授（欠席）
周辺地域住民代表	清水 正克	国崎自治会（欠席）
周辺地域住民代表	鈴木 啓祐	猪名川漁業協同組合
周辺地域住民代表	北野 正	黒川・新滝地区（欠席）
周辺地域住民代表	持井 豊勝	田尻下区
周辺地域住民代表	中西 俊裕	野間出野区
組合区域住民代表	三浦 光子	川西市在住
組合区域住民代表	松倉 麻美	川西市在住
組合区域住民代表	松本 安二	川西市在住
組合区域住民代表	椋本 由美子	猪名川町在住
組合区域住民代表	古田 美代子	能勢町在住（欠席）
組合区域住民代表	曲尾 光治	豊能町在住
関係行政職員等	樋口 進	阪神北県民局
関係行政職員等	向居 忠昭	水資源機構
関係行政職員等	西田 啓治	川西市
関係行政職員等	曾野 光司	猪名川町
関係行政職員等	森島 正己	豊能町
関係行政職員等	前田 博之	能勢町
事務局	数元 雅信	施設組合事務局長
事務局	吉川 泰光	施設組合事務局次長兼総務課長
事務局	大上 肇	施設組合事務局施設管理課長

4. 配付資料

- ・第46回環境保全委員会会議録について（資料1）
- ・排出源モニタリング
 - ①大気質（排ガス）（資料2-1）
 - ②水質（資料2-2）
 - ③処分対象物（資料2-3）
- ・環境モニタリング
 - ①水生生物調査（魚類）（資料3-1）
 - ②底質調査（1回目）（資料3-2）
- ・平成28年7月～9月気象庁降雨量データ等（資料4）
- ・平成27年度環境影響調査結果報告書に係る意見書

5. 次第

1 議事

- (1) 第46回環境保全委員会会議録について（資料1）
- (2) 環境影響調査結果について

2) - 1 排出源モニタリング

- ①大気質（排ガス）（資料2-1）
- ②水質（資料2-2）
- ③処分対象物（資料2-3）

2) - 2 環境モニタリング

- ①水生生物調査（魚類）（資料3-1）
- ②底質調査（1回目）（資料3-2）

2 報告

平成27年度環境影響調査結果報告書に係る意見書について

3 その他

開 会 18時35分

○事務局

それでは、定刻を少し過ぎてしまいましたけれども、ただいまより、第47回の環境保全

委員会を開会させていただきます。

委員の皆様方におかれましては、本日は大変お忙しい中、環境保全委員会にご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

議事に先立ちまして、委員のご出欠について、報告をさせていただきます。

学識経験者の尾崎副委員長と渡辺委員、周辺地域住民の北野委員、組合区域住民の古田委員より、ご欠席のご連絡をいただいております。

また、それ以外の委員でまだお見えになっておられない委員もおられますけれども、順次お見えになると思いますので、先に進めてまいりたいと存じます。

なお、本日、施設の管理運営業務を委託しておりますJ F Eエンジニアリング株式会社、そして環境影響調査業務を委託しております株式会社オオバから出席をいただいておりますので、ご報告をいたします。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料につきましては、事前に郵送させていただいておりますところではございますけれども、まず最初のレジュメにつきましては、差しかえがございましたので机上に配付をさせていただいております。ご面倒ですけれども差しかえ方よろしくお願い申し上げます。次に前回の会議録が14ページまでございます。その次が、調査結果の概要でございまして、排出源モニタリングとして、資料2-1から2-3。環境モニタリングといたしまして、資料3-1と3-2をつけております。次に、平成28年7月～9月までの気象庁降雨量データ等といたしまして資料4を。最後に、平成27年度環境影響調査結果報告書に係る意見書をつけております。

資料は以上でございますけれども、落丁等はございませんでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

それでは、委員長、議事の進行につきまして、よろしくお願い申し上げます。

◎委員長

それでは、議事に従いまして、まず前回の議事録の確認からお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○事務局

それでは、前回、第46回の会議録についてでございますが、レジュメの次をごらんください。

会議録の案につきましては、事前にご確認の依頼をしております、委員からの修正の申し出等いただいた部分や字句の訂正などを反映して調整をしております。

以上、よろしくお願い申し上げます。

◎委員長

今、ご報告いただきましたが、一部修正は多分されてると思いますけども、何か今日持ってきていただきました会議録につきまして、何か変更あるいは修正等ございましたら、よろしくをお願いします。

特にございませんでしょうか。

なければ、これで会議録を確定させていただきたいと思います。

それでは、次の議題、議事に移りまして2番目のところですね。排出源モニタリングにつきまして、事務局のほうから、よろしくお願ひいたします。

○事務局

それでは、環境影響調査結果について、ご説明させていただきます。

会議録の次のページに調査結果の概要といたしまして、今回ご報告させていただきます排出源及び環境モニタリングの調査結果を取りまとめております。

なお、今回の排出源及び環境モニタリングの調査結果につきましては、事務局で結果を見る限り、注意を必要とするようなポイントは見当たりませんでした。

また、ご説明させていただく資料につきましては、事前に当委員会の学識経験者評価部会の委員の方々に資料を送付し確認をしていただきましたが、今回の調査結果に対しまして、ご意見等はいただいておりますことをご報告申し上げます。

それではまず、環境影響調査の排出源モニタリング結果について、資料に沿ってご説明をさせていただきます。資料2-1の大気質、中間報告をごらんください。

2-1-1ページに調査内容と調査結果の概要を、2-1-2ページから8ページは調査結果となっております。2-1-2ページに戻っていただきまして、排ガス全般の調査につきましては、平成28年7月25日、9月29日に実施いたしまして、調査した全ての項目において管理基準値以下となっております。

ページ、少し飛びますが2-3-3ページをごらんください。

こちらは、排ガス調査におけるダイオキシン類測定値変動グラフをつけており、グラフの下には、1号炉及び2号炉の活性炭交換時期を記載しております。

続いて2番目に、水質の調査でございます。資料2-2をお開きください。

2-2-1ページは調査内容と調査結果の概要を、2-2-2ページは下水道放流水の調査結果を、2-2-3ページは雨水の調査結果を、2-2-4ページには図1といたしまして、それぞれの採水地点を示しております。

2-2-2ページの下水道放流水の水質につきましては、平成28年7月7日、8月5日、9月5日に調査し、全ての項目において基準値以下でございました。

次に、2-2-3ページの雨水の水質につきましては、平成28年8月29日に調査し、全ての項目において参考値以下でございました。

3番目に処分対象物でございます。資料2-3をお開きください。

2-3-1ページは調査内容と調査結果の概要を、2-3-2ページは調査結果でございます。

溶融スラグにつきましては、平成28年8月5日、25日に調査をいたしまして、全ての項目で基準値以下でございました。溶融飛灰固化物につきましては、山元還元業者に引き渡していることから、基準の適用はございません。

環境影響調査の排出源モニタリング結果についてのご説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

◎委員長

ありがとうございました。

今説明いただきました排出源モニタリング、大気質、水質、処分対象物ということで、ご報告いただきましたが、何かご質問ございますでしょうか。

○委員

ダイオキシンの測定変動グラフで活性炭交換時期というのを書いていただいていると思うんですが、この活性炭交換時期、交換して効果が顕著に見られるのか、それほどでもないのかってというのは、どうなんでしょうか。

◎委員長

いかがでしょうか。

○事務局

活性炭交換をした後にダイオキシンのほうは、数値が明らかに差がつくかというご質問だと思んですけども、ダイオキシンにつきましては、29の毒性のある物質があるとされておりまして、その濃度は一番毒性の強いものと一番毒性の弱いものでしたら、3万倍以上の差があるものとなっています。その29物質の何ができるのかによって濃度が著しく変わってくるという、そういう性質がございますので、活性炭によって吸着は十分されてる新しければされてるだろうというふうには考えますけども、ただしこのグラフに反映されるかどうかというのはちょっとわからないというふうに思っております。

以上です。

◎委員長

よろしいでしょうか。

○委員

むしろ反映されていないような感じを受けますね。この活性炭交換とそのダイオキシンの変動のグラフというのは、あんまりこの変化というか交換の効果というのが見られないような、そういう受け取り方がグラフからは見えると。

◎委員長

事務局。

○事務局

今、事務局のほう説明いたしましたけども、その29種類の中で言えば毒性等価係数TEFというのがございます。ただこれが先ほど言いましたが大変小さな値から大きな値。これによりまして、毒性等価係数の大きなものが検出されればダイオキシン類の濃度が要は大きくなるような形でございますので、なかなかその効果があるかないかと言われますと難しい面がございます。ただ、活性炭カートリッジに関しましては、以前から年2回交換をしております。これはあくまで予防保全ということもございますけども、例えばダイオキシン類あるいは水銀をここで吸着をしております。予防保全も兼ねまして、いわば国崎クリーンセンターの公害防止基準も大変厳しゅうございます。またそれはクリアはしていこうというふうなものでございます。

以上でございます。

◎委員長

ということで、一定の効果はあるんじゃないかというふうには思いますけども、一応今のところはこういう形で推移しておりますので、特に異常のある値というかそういうことは、現状は出てきておりませんので、特に現状のやり方で、特に問題があるというところは見られないのではないかとこのように考えます。

ほか何かご質問ございますでしょうか。

はい、どうぞ。

○委員

ダイオキシン濃度でちょっとご質問をしておきたいと思います。この質問というよりも今回9月29日の2号炉の煙突で0.0033ということが出てるわけなんですけども、これまでの2-3-3で見たらどっちかっていうと一番高い値ぐらいのが出てるんですけども、ちょっと基準からは3分の1程度ですけども、ちょっとしばらくよく注意されたほうがいいんじゃないでしょうかというのと、あとこの2号炉についてはそろそろ活性炭の交換時期というのは、もうそろそろなんですかっていうところ、ちょっと教えていただけましたらお願いしたい。

◎委員長

よろしく申し上げます。

○事務局

まず2点目の活性炭の交換時期につきましては、次は来年2月の予定になっております。それとダイオキシンの濃度の変動につきましては、委員おっしゃられたとおり注視していきたいというふうに考えております。

以上です。

◎委員長

はい、よろしいでしょうか。

○委員

はい、結構です。

◎委員長

ほかに何かご質問ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは続きまして、環境モニタリングこちらのほう説明のほうよろしく申し上げます。

○事務局

それでは、環境モニタリング調査結果についてご説明をさせていただきます。

まず、魚類調査でございます。資料の3-1をごらんください。

3-1-1ページには調査内容でございます。続いて3-1-2ページには調査地点位置図を、3-1-3ページ、4ページには調査結果を、3-1-5ページから16ページは現地写真となっております。8月に調査を予定しておりましたが、河川の工事が8月末まで行われておりました関係で、今回の調査は、平成28年9月15日から16日にかけて実施いたしました。

今回の調査では、4目7科13種うち重要種5種の魚類が確認されております。なお、魚類の確認状況は、夏季の魚類数となっており、時期をずらしたことによる調査結果への影響はないと考えられます。河川工事下流のC地点では、例年と比較いたしますと種数及び個体数が減少しており、特に、カワヨシノボリ等の底生魚が減少しており、河川工事により発生した土砂が底生魚の生息場である河床に影響を与えたことが考えられます。

2番目に、底質調査の1回目でございます。資料3-2でございます。

まず3-2-1ページには調査内容を、3-2-2ページには図1-1として底質調査地点位置図を、3-2-3ページから8ページには調査結果を、続いて3-2-9ページから14ページは現地写真となっております。

平成28年9月23日に調査し、基準値が設定されております総水銀、PCB、ダイオキ

シン類についての分析結果は、いずれも基準を満たす値となっております。鉛、カドミウム、ヒ素、銅、亜鉛については、特筆すべき傾向は認められませんでした。また、底質の粒度組成は、一定の傾向が認められず、当該河川は安定した河川でなく調査ごとに川底の状況が異なるものと考えられます。

環境モニタリング調査結果についてのご説明は以上でございます。

◎委員長

ありがとうございました。

それでは、今のご説明いただきました環境モニタリングに関して、ご質問あるいはご意見ございましたらお願いいたします。

はい、どうぞ。

○委員

工事がC地点の上流ということですが、どんな河川の工事があったのでしょうか。場所はそのあたりでしょうか。3-1-2の図で教えていただきたいと思います。

◎委員長

はい、お願いします。

○事務局

田尻川の工事につきましては、場所としましては、国崎クリーンセンターに渡るためにかけてあります新こうじ橋、そこから下流に向かっておおむね50メートルから100メートルぐらいだったと思うんですけども、その範囲の護岸の工事を春先から8月いっぱいされておりました。

以上です。

◎委員長

はい、ありがとうございました。よろしいでしょうか。

○委員

それですね、その工事のために要するに数が少ないということですがけれども、これが有意にだから数が少ないというようなことが、言えるような数なのかっていうのが一つと、平成23年にも結構少ないですよ。B地点における数は、だからその工事のためだけに、その工事があったから少なくなったというようなことは、言えるのかどうか。それがB地点においても若干少ないこの28年度の数の8は、B地点においても少ないわけで、工事はB地点の下流なわけですから、工事の原因で少ないわけじゃないですよ。だから、そういう工事のために減ったというようなことは、どういう根拠で言えるのかっていうのは、もう一つよくわからないんですけども。

◎委員長

事務局、よろしくお願ひします。

○事務局

河川の工事につきまして、春先から8月いっぱいまでかなり長期にわたって工事がなされておひ、音、振動などが河川の中に響きわたっておったというようなことが、続いた関係で上流のほうにも魚がちょっと寄りつきにくくなったのかなど、このようには思っておひます。委員がおっしゃられたように、それだけが原因かということ特定できるわけではありませんけども、一つの要因として工事があるんだらうと、そのように考えておひます。

以上です。

◎委員長

はい、ありがとうございます。いかがでしょう。よろしいでしょうか。

○委員

うん。

◎委員長

それでは、ほかに何かご意見あるいはご質問ございますでしょうか。

特にございませんででしょうか。

なければ、今の環境影響調査結果についてということで、この議題につきましては終わりにさせていただきます。

○委員

すいません。

◎委員長

はい。

○委員

もう1件。環境モニタリングのほう。環境モニタリングのことですけれども。

9月23日に調査されてるわけですが、この能勢町の気象データというのをつけていただひてるので、それを見ますと、9月23日の前にかなり雨が續いて、これ全部流されたみたひな形になった後の調査になってないかっという気がするんですけど。そのあたりは、いかがでしょう。

◎委員長

いかがでしょう。

○事務局

底質の調査についてのご質問ということでよろしいでしょうか。

調査をしていただきましたオオバさんのほうにですね、そのときの状況について、ちょっと説明いただきたいと思います。

○委員長

はい、よろしくお願いします。

○株式会社オオバ

現地調査を担当しましたオオバでございます。

写真でいきますと3-2-12と3-2-13、資料を載せているんですけども、これで何回目かになるんですが、特段その土砂が河床の土砂が全然取れなかったとか、量が少なかったとか、そういったことはちょっと今回感じたことはありませんでした。

すいません、ちょっと所感になりますけど。

◎委員長

はい、いかがでしょうか。

○委員

最初に説明いただいたときに、この河川というのは、定常な状態を呈してるのではなくて、毎回変わってるんだというような報告をいただいたと思うんです。それはだから、何によって、この土砂というのは大雨がふろうが、雨が多かろうが非常にこう乾季が続こうが、その土砂の体質とかそういうのが変わらないのであれば、大体いつ取っても同じようなデータが出るのかもしれませんが、今は、何か河川の状況は時と場合、時期によって違ってるような河川であるという見解を述べられたわけですから、この調査においても、この雨が続いた後と、そうでないときと実質この調査の内容というか、その堆積されているものが、どの程度変わるのかということが、ちょっと聞きたいわけです。要するに、いつ取ってもあんまり変わらないのであれば、いつ取ってもいいでしょうけど。その時期によってころっと変わるといような言い方をされると、結局は雨が続いた後とか、それほどでもないときというのは違うわけで、だからその調査にどれだけの意味をどういうふうに考えたらいいいのかっていうのが、もう一つよくわからないんですけども。

◎委員長

はい、お願いします。

○事務局

調査をさせていただいております河川は自然の河川でございます。したがって、台風等の大雨があったりですとか、渇水で水が少なかったりですとか、条件がまちまちであろうというふうに思っております。これまで、平成14年度から今まで底質の調査をしてきたところを3-2-5のグラフであらわしておりますので、そのあたりもちょっと1回の雨でど

うこうというようなふうには、捉えておりませんで、このグラフでもってこの河川の底質が、
こういう正常であるというふうに事務局のほうでは、捉まえている次第です。

以上です。

◎委員長

はい、いかがでしょうか。今、お話がありました。

○委員

調査をして、この要するに年によって違うから、このような状態だということなんですけれども。だから、台風とかでなく、雨が続いた後の底質と雨が少なかったときの底質というのは、どういうふうに見ることができるかという、そういう観点はないのでしょうか。

◎委員長

はい、どうぞ。

○事務局

先ほども申し上げましたとおり、大雨だからどうだ、雨が少ないからこうだというふうには、ちょっと見ておりませんで、ご質問の雨がふったらどうい影響が出るのかということにつきましては、事務局でもお答えしかねるということです。

以上です。

◎委員長

はい、今のお話しですが。

これ以前、かなり雨がふった後の調査っていうのは、この中に入ってるんですが、ちょっと全部くらないとわからないので、どういう状態のものが、この中に含まれているかわかりませんが、今回はそこそこの量は確かに多いように思いますので、以前にそういうのがあれば、そのときにどうだったかということで、お話しいただければ少し参考になるかなと思います。

○事務局

申しわけありません、今ちょっとその観点で見たという資料がありませんので、今ここでお答えをしかねます。この件につきましては、少しさかのぼって資料を見ていきたいと思えます。

◎委員長

それでは、かなり長期間にわたって測定のほうを同じポイントでされてますので、そのときに応じて、比較的渇水の状態のときと、雨が続いたときの場合の差があるかわかりませんが、そのあたり少し調べていただくということで、次回そのあたりも含めてご報告いただくということでよろしいでしょうか。

+

はい、それではほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

特になければ、議事のほうを次に進めさせていただきます。

次は報告ということで、意見書についてということですが、これ事務局のほう何かございますか。

はい、どうぞ。

○事務局

そうしましたら、資料の最後のページでございますけども。

平成27年度環境影響調査結果報告書に係る意見書でございます。これにつきましては、1名の方から意見書をいただいておりますので、ご報告をさせていただきます。

以上でございます。

◎委員長

ありがとうございました。

一番最後のページにお一人の方から意見が出ておりますので、つけさせていただいているようです。よろしいでしょうか。

はい、これは報告です。

議事のほうは一応その他ということに次、なっておりますが、何か事務局のほうございますでしょうか。

○事務局

事務局としては特にございません。

◎委員長

それでは以上ですが。

○委員

クリーンセンターのことについて、ちょっとよろしいでしょうか。

◎委員長

はい。

○委員

私は市民ですので、「森の泉」をいただいておりますけども、12月4日に何かファミリーフリーマーケットとかいうのをやられたと思うんですが、こういうのがどれぐらいその地域の人に浸透してるかなということをちょっと知りたくて、どれぐらいの人が来ておられたのかなとか、そんなことで大体のことで結構でございます。こんなふうでしたので、よろしく願いいたします。

◎委員長

事務局、はい、どうぞ。

○事務局

フリーマーケットは、3カ月に1度、実施をしております、この直近の12月4日はまだデータが、報告書が出ておらないのですが、前回9月に開催いたしましたときにもかなり盛況でございまして、延べ人数ですけれども、1,600人の方が、お越しいただきまして、これは啓発施設「ゆめほたる」を指定管理しております業者のほうで実施をしておるものなんですけれども、こちらのほうで何せこちらの施設、公共交通機関がございません。足の便が悪うございますということで、シャトルバスを配置いたしまして、ご来場いただく。またお車でお越しの方は、ずっと坂のところですね縦列駐車していただいて、来ていただいて、私もちょうど昼前に見に行ったんですけれども、もうそのときには既に橋のたもとまで、もう車がいっぱいになっておりました状態で、非常に館内も盛況でございまして。

○委員

足の便がないので、どれぐらいになってるのかいうことをちょっと心配してました。

○事務局

ああ、そうですか。いうことで、先ほどお話ししましたようにシャトルバスを配置をして、ご来館いただくような措置をとっています。

○委員

はい、ありがとうございました。

◎委員長

ありがとうございました。

この件以外で、はい、どうぞ。

○委員

すいません。ちょっとこの件以外なんですけれども、最後に参考資料として資料4をつけていただけてますが、4-4のところの運転日報というところが、ちょっとわかりにくいんです。「2号炉運転日報1」というところで、これずっとこの時刻が1から24、そのとき下の焼却量がゼロですよ。で、焼却量がゼロで発熱量が一定で、何でこの炉内の温度が5時ぐらいからこう高くなるのか。それから、ナンバー1加熱器出口の温度が2時ぐらいからちょっとこう上がってますよね。これは、どういうふうに理解したらいいんでしょう。その焼却、何も焼却してない発熱量も全く変わらない。なのに何か温度が上がってくるというのが、何か燃やしてるんですか。

◎委員長

はい、どうぞ。

+

+

○事務局

これは、2号炉立ち上げに入っておる状況でございます。昇温してるところでございます。都市ガスで炉内の温度をあっためておるといふふうな状況でございます。以上でございます。

◎委員長

はい、よろしいでしょうか。
それでは、ほかに何か全般にわたっても結構ですが、ございませんでしょうか。
よろしいでしょうか。
それでは、きょうの議事のほう全て終了させていただきました。ありがとうございます。

○事務局

委員長、議事の進行、どうもありがとうございました。
また、委員の皆様におかれましては、慎重かつ円滑にご審議をいただきまして、まことにありがとうございました。
それでは、これをもちまして、第47回の環境保全委員会を終了させていただきます。
なお、お車でお越しの方につきましては、駐車場の出口に職員が立ちまして、無料で通過できるようにいたしますので、よろしく願いいたします。
本日はどうもありがとうございました。

+

+

19時10分 閉会

+